

病気の

水痘（みずぼうそう）とワクチン

??



水痘帯状疱疹ウイルスに初めて感染すると、約**2週間**の潜伏期間を経て水痘を発症します。症状の重さは個人差が大きいですが、全身に多数の水疱（平均約300個）ができ、発熱（微熱から40℃代の高熱まで）も伴います。水疱は約**1週間**でかさぶたとなりますが、全身のすべての水疱がかさぶたになるまで感染力が強いので、登園や登校はできません。ワクチンを1回打っていたり、抗ウイルス剤を早期に始めると軽症化させることができます。合併症として、肺炎・脳炎・小脳失調症・肝炎・血小板減少症・ライ症候群などがあります。最も多いのは**皮膚の化膿**ですが、痕が残りにくく、これもあなどれません。

ワクチンは日本で開発され、1987年から市販されました。もともと白血病など免疫力の低下しているお子さんを対象に弱毒化、開発されたワクチンなので、健康な小児の場合副反応はほぼありません。ただし、1回の接種では2～3割が数年以内に自然水痘にかかってしまうので、**3～6ヶ月後に2回目の接種が望ましい**です。

1歳から3歳未満のお子さんは2014年10月以後、国の定期接種として**2回の接種**を無料で受けることができるようになりました。

帯状疱疹は水痘を発症後、このウイルスが脊髄の神経節に潜伏感染し続けて、免疫が低下した場合に再活性化して神経にそって水疱が出現し、後に神経痛を残す病気です。ワクチンを受けておくと発症しにくいです。

お子様が1歳半頃までは、受けていただきたいワクチンがその他たくさんあります。わかりにくいこと、心配なことなど、スタッフに遠慮なくお尋ねください。

BCG ワクチンのお知らせ

毎週火曜日の14時30分から接種を行っています。ネットやスマホで、ご予約が必要です。対象の年齢は、生後3ヵ月から1歳未満ですが、5ヶ月から8ヶ月が推奨されています。なお、原則としてBCGと他のワクチンとの同時接種は行っていません。ご予約時、不明なことがありましたら受付までお尋ねください。



スタッフ紹介

医師 **荒木 則子**

木曜日（および月曜）の午前の診療を担当しています。毎日4人の子供達の育児に奮闘中です。困ったことは何でも相談してください。



お知らせ

※2015年4月1日から、診察時間および代診が変わります。水曜の午後は休診にさせていただきます。

	月曜日	月曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	院長 (荒木先生)	院長	山本先生	荒木先生	院長	院長
午後	院長	院長	休診	院長	院長	休診